

令和2年度 芸術〔音楽〕

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	改訂版「高校生の音楽Ⅰ」（音楽之友社）						
副教材等	高校生のための音楽研究ノート（教育芸術社）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の4つの分野を年間通して学習します。
- ・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
- ・音楽の学習は、仲間と共に実際にやってみてこそ価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。
- ・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a: 音楽への関心・意欲・態度	b: 音楽表現の創意工夫	c: 音楽表現の技能	d: 鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評 価 方 法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取	観察 ワークシート
上に示す観点に基づいて、学期ごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学期	豊かな声で歌いあげよう イメージをもって	【歌唱】 校歌 翼をください ありがとう	○	○	○		a: 歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	リコーダー二重奏を楽しもう	【器楽】 グリーンスリーブス ジブリメドレー	○	○	○		a: アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音楽を形作っている要素を知覚し、その働きを感受しながら、表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 c: 楽譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付け、協力し合い創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ハーモニーを楽しもう	【合唱】 時の旅人	○	○	○		a: 曲想と歌詞の内容との関わりに関心をもち、合唱の学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c: 曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技能（発声、言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方）を身に付け、協力し合い創造的に表している。	観察

2 学 期	外国語の美しい語感を生かして表現しよう	【歌唱】 野ばら Heidenröslein	○	○	○	<p>a: 「野ばら」のドイツ語の響きや、曲想、歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心を持ち、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>b: 「野ばら」のリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、どのように歌うかについて表現意図をもっている。</p> <p>c: 曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもって音楽表現するために必要な発声、ドイツ語の発音、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている。</p>	観察 ワークシート 演奏の聴取
	リコーダー四重奏を楽しもう	【器楽】 ①威風堂々 ②組曲惑星より「木星」 ③ハナミズキ ④ディズニーメドレー	○	○	○	<p>a: 4声のアンサンブルに関心を持ち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>b: 音楽を形作る要素を知覚し、その働きを感じながら、表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。</p> <p>c: 楽譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付け、協力し合い創造的に表している。</p>	観察 ワークシート 演奏の聴取
	箏に挑戦	【器楽】 【創作】 「箏曲の特徴1」 「箏曲の特徴2」	○	○	○	<p>a: 箏の音色や奏法の特徴に関心を持ち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。</p> <p>b: 音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。</p> <p>c: 箏の音色や奏法の特徴を生かした技能を身に付け、創造的に表現している。</p>	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ハーモニーを楽しもう	【合唱】 春に	○	○	○	<p>a: 曲想と歌詞の内容との関わりに関心を持ち、合唱の学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>b: 旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、どのように歌うかについて表現意図をもっている。</p> <p>c: 曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技能（発声、言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方）を身に付け、協力し合い創造的に表している。</p>	観察

